### 市長定例記者会見資料



令和4年8月24日	
所 属	疾病対策課
所属長	今井 雅雄
電 話	06 - 4869 - 3053

### 夏休み明けの若年層向け自殺対策の取り組みについて

尼崎市は、9月10日から16日までの「自殺予防週間」に先立ち、夏休み明けの児童・生徒向けの自殺対策に取り組みます。

令和3年版自殺対策白書(厚生労働省)によると、全国の自殺者数は近年、減少傾向が見られるものの、若年層の減少率は40歳代以上と比べて小さく、15~39歳の各年代の死因の第1位は自殺となっています。また、18歳未満の自殺が長期休業明けに増加する傾向が指摘されています。このような状況から、市内の施設が家庭や学校以外の居場所として開放されていることを多くの人に知ってもらい、つらい時に適切な相談先へつながることで若年層の自殺等のリスクの軽減に努めます。

### 1 取り組み内容(8月24日~)

#### (1) 居場所の動画紹介

市ホームページ※上で、中学・高校生が利用できる居場所を動画で紹介します。

### ▼掲載施設

- ・尼崎市ユース交流センター
- ・一般財団法人ポノポノプレイス
- ・かくれ家 YokA (一般社団法人 enGrab(えんぐらぶ))
- ・ぐれいぷハウス (一般社団法人 office ひと房の葡萄)
- ・生涯学習プラザ(中央北、小田南、大庄北、立花南、武庫西、園田東の6施設)

\*URL: https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/kenko/kokoro/1018211.html



居場所紹介ページへのリンクを記載したメンタルヘルスに関するチラシを作成し、市内各施設で配布するとともに、明治安田生命保険相互会社との「健康増進に関する協定」に基づき連携・協力し従業員のネットワークを用い顧客への対応などを通じて配布します。

#### 2 関連する取り組み

・令和4年度「自殺予防週間」広報用ポスターを市内公共施設・学校など約90施設に掲示(8月24日~9月16日)

#### 3 参考情報

一般的に自殺(企図も含む)を行う人の3要素として、これまでの人生経験の中で「身についた自殺の潜在能力」(①)、自分の居場所がないと感じることや自分を必要としていない等の主観的な孤独感を感じる「所属感の減弱」(②)、自分が生きていることが周囲の迷惑になっている、自分がいない方が周囲は幸せになれると認識をしてしまう「負担感の知覚」(③)の3つの要素があると言われ、この3つが合流したとき重篤な自殺企図につながると言われています。一方で、その「所属感の減弱」に働きかけることが自殺対策に効果あると言われており、居場所がある、帰るところがあるという感覚を本人が感じることが自殺対策として大切だと言われているため、主に中学・高校生が過ごせる地域の居場所を紹介する取り組みを行います。



居場所の紹介動画のサムネイル

# 「いつもと違う」

## 身近な人の悩みや変化に気づいたら…

Ⅰ 声をかける

「あなたのことを心配している」と言葉にして伝えましょう。

2 話を聞く

批判や説教を行わず 気持ちに寄り添いながら傾聴しましょう。

3 判断をする

相談された内容が自分たちで 解決できる問題かどうかを考えましょう。

4 つなげる

専門の相談機関等へ相談をしましょう。 相談機関の検索はこちらから → 尼崎市ホームページにつながります



5 見守る

相談機関につなげた後も、見守りが大切です。

見守ってくれているという安心感や受け入れてもらえたという感情が、「孤立感」や「孤独感」を減らすことにつながります。

### 🔀 尼崎市

# 学校や家に居場所がないと

## 感じるあなたへ

あなたのための居場所があります。

行き場がないと感じたときは

来てみてください。



### 居場所(市内の施設)の例

- ・ユース交流センター
- ・生涯学習プラザ など

その他にも施設はあります。 詳しくはこちらから →

> 尼崎市ホームページに つながります



### 思春期・若者こころの相談

しっぺいたいさくか 尼崎市疾病対策課

「こころの不調を感じる」 「病院を受診したほうがいいかな?」 など、気になることがあれば 気軽にお電話ください。

06-4869-3053

## ▼ 尼崎市



心がもやもやしたり、ざわついたら、 ひとりで悩まず伝えてほしい。









